

よりよき教育現場の実現に向けて

－経済同友会で考える－

開倫塾

塾長 林明夫

Q：経済同友会では、学校や教育委員会に会員である企業経営者を10年間派遣し続けたことを記念して報告書を出したそうですね。

A：(林明夫：以下省略)はい。私も会員として参加させて頂いている経済3団体の一つである公益社団法人経済同友会では、10年前の1999年から「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」をスタート。学校や教育委員会からの要請により、中学生や高校生を対象にした出張授業や、校長・副校長、教員、保護者の研修会等で交通費・謝礼等一切無しで講師を務めています。2009年度は年間のべ300名、10年間ではのべ2000名以上の経営者が派遣されています。

例えば、私は6月には東京都墨田区立吾嬬第二中学校2年生と群馬県立玉村高校全校生徒(群馬経済同友会からの派遣)、7月には墨田区立鐘淵中学校1年生、同文花中学校2年生、八王子市立元八王子中学校3年生に出張授業に行きました。

Q：報告書はどのような内容ですか。

A：中学生、高校生、教員、校長、保護者、国、地方行政、それに企業、経営者に望むことがその内容です。

Q：中学生に望むことは何ですか。

A：より良い中学生であるために、「生きがい(人生の目標)を探そう」、「チャレンジ精神をもとう」、「『基本』を大切にしよう」、「本物と接し、本物から学ぼう」、「身近な人の仕事ぶりを見よう」「今打ち込めることがなければ、まずは勉強しよう」

Q：高校生に望むことは何ですか。

A：より良い高校生であるために、「論理的に考える習慣を身につけよう」、「社会常識を身につけよう」、「人としての基本的な人格を形成しよう」、「コミュニケーション能力を磨こう」、「生きがい、目標をもち、その先に働くことの意義を見出そう」、「グローバルな視点と身近な地域のへの関心をもとう」、「日本語力、英語力(外国語力)を高めよう」、「近現代史と全教科にわたる基礎学力を身につけよう」、「時事問題への関心と読書の習慣を身につけよう」

Q：教員に望むことは何ですか。

A：より良い教員であるために、「教育に情熱と使命感をもつ」、「子どもたちに自身の夢を語り、夢をもたせる」、「子どもの個性を尊重し、考える^{あし}葦を育てる」、「子どもたちに実体験をさせ、活

き活きとした教育を実践する」、「保護者と正面から向き合い、家庭と学校の役割について認識を共有する」、「外部との接触を通じて自己研鑽^{けんさん}する」

Q：校長に望むことは何ですか。

A：より良い校長であるために、「学校経営に情熱とビジョンをもつ」、「校長という職位をスタートラインと捉える」、「学校の最高経営責任者と自覚し、世界と社会の変化を積極的に取り込む」、「教員を活かし、モチベーションを高める」、「学校と社会を繋ぐ「架け橋」としてのリーダーシップを発揮する」、「生徒の手本となり、『道徳教育の要』^{かなめ}となる」、「組織運営の管理能力は、職位に就任した瞬間から発揮する」

Q：保護者に望むことは何ですか。

A：より良い保護者であるために、「世の中が大きく変化していることを理解しよう」、「子どもに『一人の人間』として接しよう」、「かわいい子には旅をさせろ!」、「子どもの個性を尊重しよう」、「社会の一員として基本を身につけさせよう」、「地域社会や学校活動へ参加し、支援しよう」、「子どもとのコミュニケーションを増やそう」、「感受性・感性^{かんよう}を涵養しよう」、「『待てない』『褒めない』『やらせない』の3ナイを払拭しよう」

Q：国に望むことは何ですか。

A：①教員が現場で生徒と向き合う時間を増やす、②補助教員もしくは補助的役割を担える人材を学校に派遣する、③社会の変化を的確に学校に伝える。

Q：地方行政に望むことは何ですか。

A：①教育への体系的アプローチを推進する、②教育改革のパフォーマンス・チェックの仕組みを作り公表する、③地方行政がリーダーシップをとる、④保護者に対する「子育て教育」を推進する、⑤子育てのために、地域の教育力・人的資源を有効に活用する

Q：企業・経営者に望むことは何ですか。

A：経営者への願い、「社会貢献の柱の一つとして教育支援を」、「従業員への啓発活動と意識改革を」、「経営者自ら教育への貢献を(一人一回以上の出張授業)」

Q：最後に一言どうぞ。

A：以上が、10年間の活動を通じた各々の皆様へのメッセージです。報告書の全文は、公益社団法人経済同友会ホームページ(www.doyukai.or.jp)の「提言・意見書・報告書」のコーナーで御高覧下さい。

お読みいただければ、学習塾・予備校・私立学校の経営者、先生方の教育活動に必ずお役に立つと確信いたします。

— 2010年7月20日記 —